委員会付託内容・審査報告

※議案名などは、採決結果一覧（8ページ）を参照ください。

総務常任委員会

12月12日に総務常任委員会を開催し、付託された議案2件、陳情2件について慎重な審査を行いました。

審査結果

議案第2号、議案第9号は原案可決。

陳情第11号は不採択。陳情第13号は継続審査。

主な質疑

●議案第2号

問　市内社会教育施設等の空調設備及び消防用設備保守点検業務はどの施設が対象か。また、契約方法は。

答　生涯学習課が所管している中央・白里公民館、大網白里アリーナ等の施設が対象。以前はそれぞれの施設において契約を行っていたが、経費削減のため一括して契約するもの。

主な意見

●陳情第11号

「政府はこれまでは日米地位協定の改定ではなく、運用面での改善を図ってきていると国会で答弁しているので、事案に合せて運用改善を図っていく事が適切であると考える」などの陳情に反対の意見や、「沖縄での米軍ヘリコプター墜落事故では、米軍により日本側は現場に近づくことができなかった。この陳情は、事故が起きた場合の日本の捜査権を米国に認めさせようとする内容でもある。日本が主権国家であるならば、当然の権利である」との陳情に賛成する意見がありました。

総務常任委員会

委員長　山田繁子
副委員長　佐久間久良
委員　森建二
委員　小倉利昭
委員　北田宏彦
委員　花澤房義

産業建設常任委員会

12月13日に産業建設常任委員会を開催し、付託された議案4件について慎重な審査を行いました。

審査結果

議案第5号、議案第6号、議案第8号、議案第11号は原案可決。

主な質疑

●議案第5号

問　施設の改築更新の費用が大幅に増加する心配はないのか。

答　事前に調査を行い、施設や機器の状態等を確認している。早急に更新しなければいけない機器を選定しているので事業実施にあたり、費用の大幅な変更はないと考えている。

●議案第6号

問　会計システムを更新するとのことだが、会計システムの役割は。

答　これまでと同様、会計システム全般を情報集約化し、決算時には様々な財務諸表を作成することが可能である。更に予算編成、固定資産管理、企業債管理のシステム等が含まれており、様々な会計業務に役立つものである。市民などへの情報提供にも役立てたい。

●議案第11号

問　（仮称）防災第2号公園の区域を定めるとのことだが、公園整備に付随するものはあるのか。

答　基本的に築山（津波避難施設）の整備を考えている。現在、実施設計を行っている中で有効活用を検討している。

問　なぜこの場所に築山を整備するのか。

答　津波避難施設整備計画に基づき、四天木13区の南避難路沿いで、海岸から概ね750mであるこの場所を選定した。

問　公園整備面積が約5千㎡となっているが、これは築山に必要な面積か。それとも、公園として整備するために必要な面積も含んでいるのか。

答　築山として必要な面積及びある程度の隣接地との距離を考慮した面積としている。なお、築山を地元の憩いの場として活用できるよう、公園として整備していただきたいと地元からの意見があった。

（仮称）防災第2号公園予定地を現地確認

産業建設常任委員会において、議案第11号の審査のため、築山整備を進めている（仮称）防災第2号公園予定地を確認。担当課より、築山の規模などについて説明を受けました。

産業建設常任委員会

委員長　田辺正弘
副委員長　前之園孝光
委員　石渡登志男
委員　黒須俊隆
委員　倉持安幸

文教福祉常任委員会

12月13日に文教福祉常任委員会を開催し、付託された議案4件、陳情7件について慎重な審査を行いました。

審査結果

議案第2号、議案第4号、議案第7号、議案第10号は原案可決。

陳情第9号、陳情第10号は採択。陳情第6号から第8号、陳情第12号、陳情第14号は不採択。

主な質疑

●議案第7号

問　空調設備機器保守点検業務について、業者の選定方法は。また、過去の入札実績はどうか。

答　一般競争入札により業者を選定している。また、平成29年度の実績では、入札参加業者は4社であり落札率は59．35％であった。

主な意見

●陳情第6号

「市独自に受動喫煙防止条例を定めると、市民が困惑するのではないか。まずは、受動喫煙の重要性と喫煙者のマナー向上を啓発することが大切である」などの陳情に反対の意見や、「受動喫煙防止のため、屋内を全面禁煙とするのが国際的な流れであり、千葉市も独自に条例化を目指している」との陳情に賛成する意見がありました。

●陳情第7号

「受動喫煙防止は、まずは国の法制化の動向を注視していくべき」などの陳情に反対の意見や、「分煙では受動喫煙を防止できない。千葉県にも条例化を求めていきたい」との陳情に賛成する意見がありました。

●陳情第8号

「平成18年の障害者総合支援法の施行以来、障害者福祉サービスに関しては、大幅に予算は増額している。また山武地域においても、すでに数多く事業所が整備されている」などの陳情に反対の意見や、「陳情者は、今の国の予算では十分ではないので、予算を増額してほしいと考えている」との陳情に賛成する意見がありました。

●陳情第9号

「国が検討している法案の内容が、受動喫煙防止につながるかわからない。国の結論を待つことには反対であり、市で条例をつくる必要がある」との陳情に反対の意見や、「喫煙者個人のマナーの問題も大きいのではないか」などの陳情に賛成する意見がありました。

●陳情第10号

「自主的に全面禁煙を導入した飲食店では、ほとんどの店で売り上げに影響はなかったとの調査資料が、国会の厚生労働委員会で提出されている」との陳情に反対の意見や、その他陳情内容に賛成する意見がありました。

●陳情第12号

「国が生活保護制度の見直しを行っている。級地について30年ぶりに見直しされるので、国の動向を見ていくしかない」などの陳情に反対の意見や、「都市部と本市において、それほど生活に差はない。国は30年間級地を変えてこなかった。今の時代に即していない制度を廃止するべきというのが陳情の趣旨である」との陳情に賛成する意見がありました。

●陳情第14号

「最低保障年金が実施されれば、賛否両論が出る。全ての人に支給することは困難ではないか」など陳情に反対の意見や、「最低保障年金は、ほとんどの先進国では整備されている。一定の年齢になれば、誰でも老後の生活ができる年金を受給することが必要である」との陳情に賛成する意見がありました。

文教福祉常任委員会

委員長　加藤岡美佐子
副委員長　小金井勉
委員　蛭田公二郎
委員　秋葉好美
委員　堀本孝雄
委員　宮間文夫